

肥田舜太郎先生のお話を聴く会

# ヒロシマからフクシマへ

1945.08.06

2011.03.11

～ 内部被ばくを考える ～

3.11から丸2年。  
今こそ、ヒロシマの被ばく医師  
肥田舜太郎先生の語りと向き合う。



講演者の肥田舜太郎先生

## 肥田舜太郎先生 略歴

1917年、広島生まれ。医師。広島市への原爆投下により自身も被爆、直後から被ばく者救援・治療にあたる。6,000人以上の被ばく者治療の体験をふまえて、「原爆ふらぶら病」と呼ばれる症状や、低線量・内部被曝の影響に関する研究にも携わる。現在は全日本民医連顧問ほか。

著書に、『ヒロシマを生きのびて』（あけび書房）、共著書に『内部被曝の脅威』（ちくま新書）など。

日時 2013年3月16日(土)

13時30分～

受付

14時00分～15時30分

講演「ヒロシマからフクシマへ」

15時30分～16時00分

質疑応答

会場 グリーンカレッジホール 4階 Bホール (<http://www.gch-itabashiku.jp>)  
(旧板橋区立勤労福祉会館)

参加費 一般 800円・学生 500円 (資料代含む)

定員 130人

事務局 特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

申込・問合せ先

mail : [info@npo-soe.jp](mailto:info@npo-soe.jp)

Fax : 03-3960-6052

お名前・一般または学生・ご連絡先(メールまたは電話)をご明記ください。

当日申込の場合、人数が上限に達した際にお席を用意できない可能性がございます。

講師が高齢のため、体調不良などの際には急遽内容を変更し、映画『核の傷』を上映する場合がございます。あらかじめご了承ください。